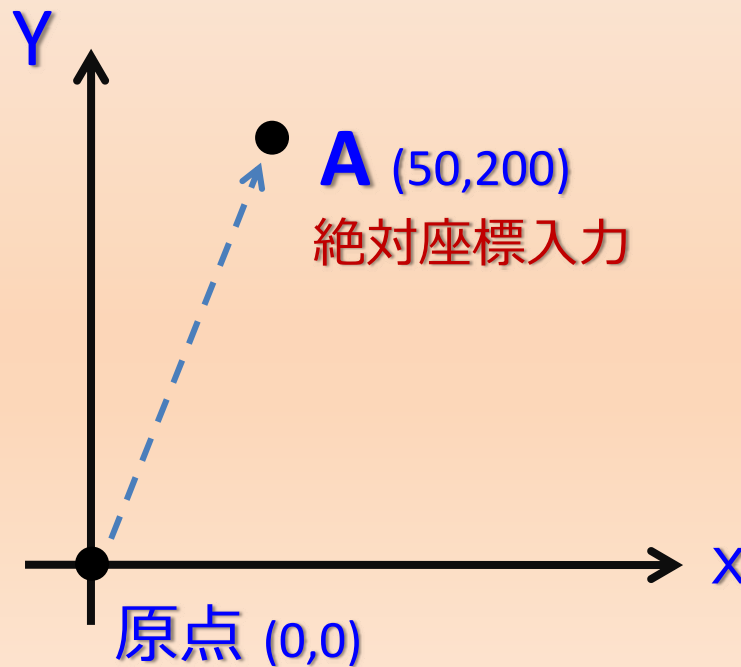


コマンド	エイリアス	機能
線分/LINE	L	線分を描く
オフセット/OFFSET	OF	同じ属性のオブジェクトを任意の位置に複製
長方形/RECTANG	REC	長方形を描く
削除/ERASE	E	オブジェクトを削除する
移動/MOVE	M	オブジェクトを移動する
面取り/FILLET	F	オブジェクトの面取りをする
配列複写/ARRAY	AR	配列状に複写する
複製/COPY	CO	複製を作る
円/CIRCLE	C	円を描く
延長/STRETCH	S	オブジェクトを延長する
回転/ROTATE	RO	オブジェクトを回転する
分解/EXPLODE	X	オブジェクトを分解する
鏡像/MIRROR	MI	オブジェクトを指定した対象軸で反転複写する
円弧/ARC	A	円弧を描く
ポリライン編集/PEDIT	PE	ポリラインの編集を行う
構築線/XLINE	XL	構築線を描く

□ 絶対座標とは

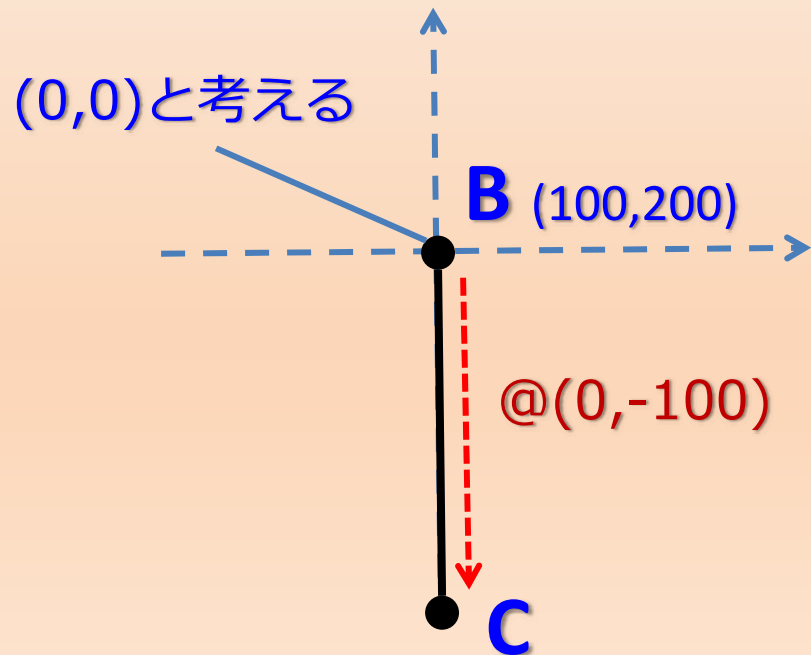
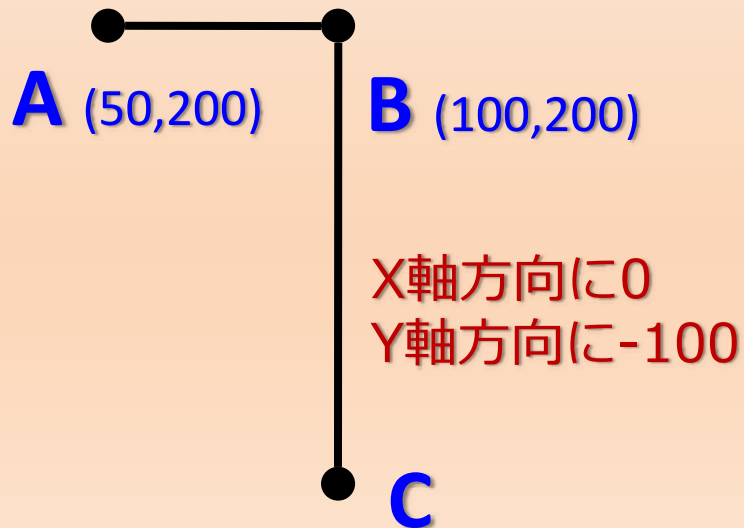
- 原点(0,0)からの位置を(x,y)の形式で表した座標
- ダイナミック入力の際は先頭に「#(イゲタ)」を付ける



絶対座標

□ 相対座標とは

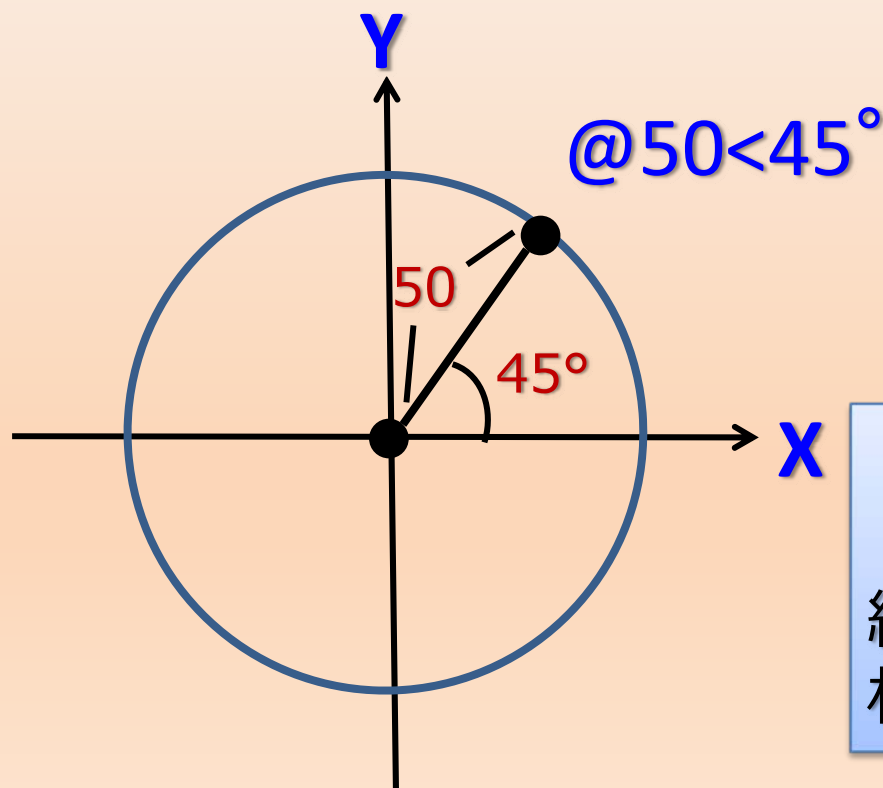
- 直前に入力した点を仮の原点(0,0)として、目的の座標を表すこと
- 座標の先頭に「@」を付けて表現する
- ダイナミック入力では「@」を省略する



相対座標

□ 極座標入力とは

- 点の位置を「距離」と「角度」で表す方法
- 角度は「<」を付けて表現する



距離 < 角度

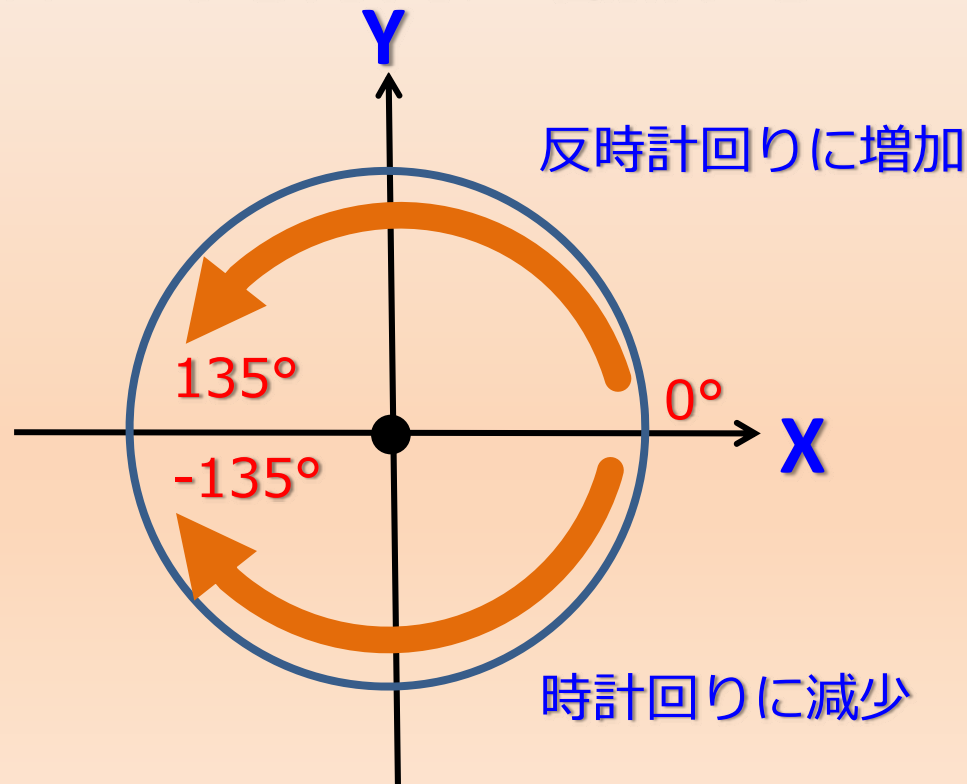
絶対極座標 (例) #50<120

相対極座標 (例) @50<120

極座標入力

□ 角度の指定方法

- 反時計回りに増加・時計回りに減少
- ただし、ダイナミック入力では直前の点からカーソルのある方向に増加する



極座標入力

テンプレート

```
graph LR; Template[テンプレート] --> SheetA[図面A]; Template --> SheetB[図面B]; Template --> SheetC[図面C];
```

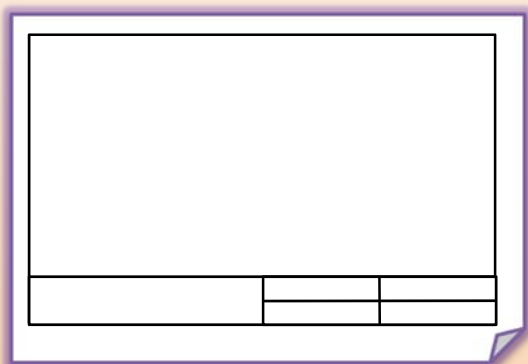
The diagram illustrates a workflow where a single template is used to generate multiple sheets. On the left, a purple box labeled 'テンプレート' (Template) has three blue arrows pointing to three stacked purple boxes on the right labeled '図面A' (Sheet A), '図面B' (Sheet B), and '図面C' (Sheet C). The entire diagram is enclosed in an orange border with a light orange to white gradient background.

図面A

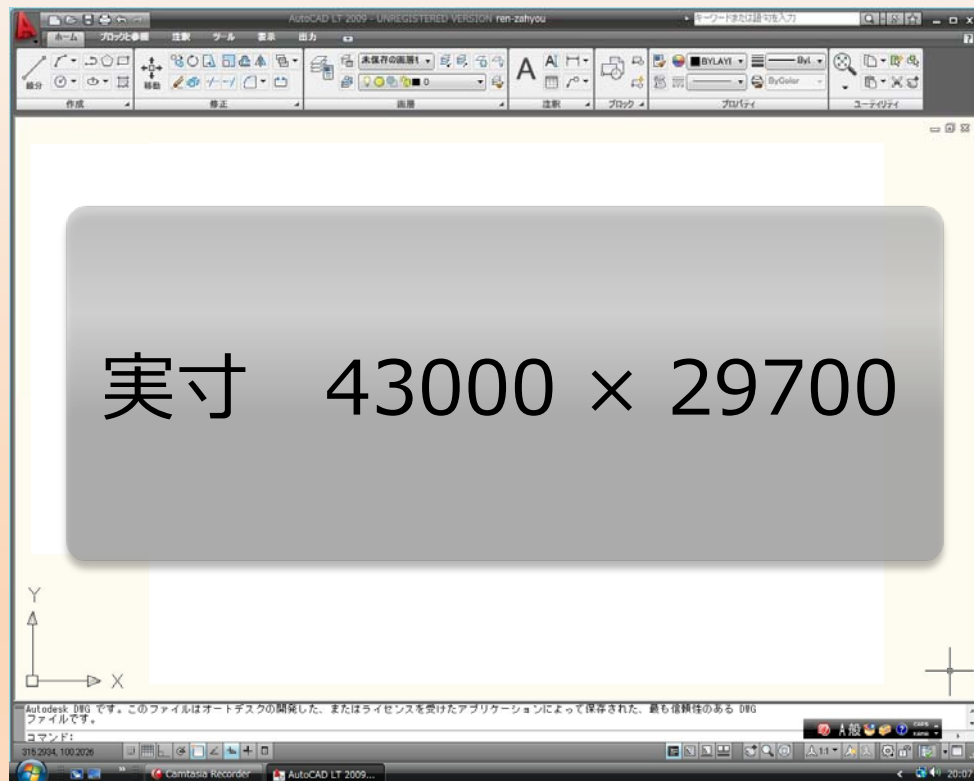
図面B

図面C


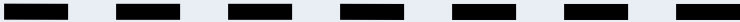
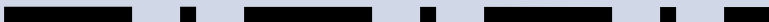

テンプレート



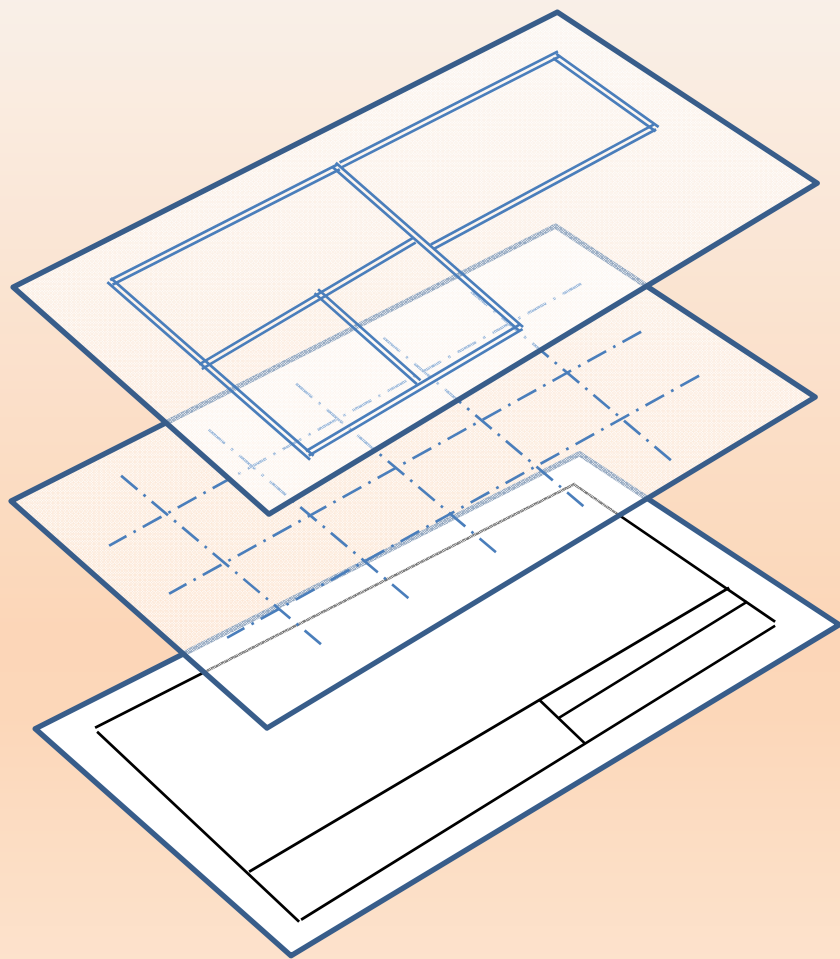
図面用紙 : A3(430×297)
縮尺 1:100



テンプレート

線種	形状
実線(Continuous)	
破線	
一点鎖線	
二点鎖線	

線種設定



壁

通り芯

図枠

画層の設定

名前	色	線種	線の太さ
02柱	white	Continuous	0.25mm
03壁	white	Continuous	0.25mm
04建具	blue	Continuous	0.09mm
05設備	red	Continuous	0.18mm
06補助線	magenta	Continuous	0.09mm
07文字	white	Continuous	0.18mm
08寸法	white	Continuous	0.09mm
09図枠	white	Continuous	0.18mm
10ガラス	magenta	Continuous	0.18mm
11ハッチング	101	Continuous	0.05mm
12植栽	green	Continuous	0.13mm
13外構	124	Continuous	0.09mm
Defpoints	white	Continuous	既定

画層の設定